

各 位

2025 年 4 月 24 日  
株式会社 G S I クレオス  
経営企画部 企画広報課

## 南フランスに化学品事業の研究開発拠点を設立

株式会社 G S I クレオス（東京都港区／代表取締役 社長執行役員 吉永 直明、以下 当社）は、グループで展開するグローバル化学品事業の中長期的な発展を目的として、このたび当社のドイツ法人である GSI ヨーロッパ社の支店として、南フランス・コートダジュール地域圏のグラスに化学品事業の研究開発拠点を設立いたしました。

世界の塗料・コーティング市場の規模は、2023 年には 2,065 億ドルと評価され、2032 年までに年平均成長率 4.5% で成長すると予測されています。その一方で、業界では M&A により技術力や市場シェアの拡大を図る企業が増加しており、新興国の台頭も相まって市場の競争は一層激化しています。さらに消費者の健康・環境意識の高まりや欧州を中心とする化学品の規制強化により、企業には環境や人体に配慮した持続可能な製品開発が求められています。

このような状況下で当社グループが市場競争力を高めるためには、顧客の事業成長に資する新たな顧客提供価値の創出が必須であるとの考えから、従来の仕入れ・在庫・販売のビジネスモデルから脱却し、顧客の課題や業務プロセスをふまえた最適な製品・サービスの組み合わせを提案するビジネスモデルに転換を図るため、このたびフランスに研究開発拠点を設立することといたしました。フランスは化学品業界の世界主要地域であり、拠点を構えるグラスはカンヌやニースと同じ南東部に位置する都市で、高度技術集積地として知られている「ソフィア・アンティポリス (Sophia Antipolis)」に近接しております。ソフィア・アンティポリスには世界中から 2,500 以上の企業が誘致され、従業員は約 44,500 人、さまざまな分野の先端研究に携わる研究者は約 5,500 人に上るとされており、このエリアは化学分野の高度な研究施設を置くには最適な環境といえます。また世界で最も環境規制が厳しい欧州に研究拠点を構えることが、低毒性や低 VOC などの環境対応ニーズに即応した製品開発に適していると判断しました。

今後はグループ内に研究開発機能を備えることで、顧客の新規処方開発支援や課題解決に向けた提案など、世界中の顧客ニーズに応える価値やソリューションの創造・提案を推進し、業界における当社のプレゼンスを高めるとともに、当社グループが注力するグローバル化学品事業の競争力強化と持続的な成長を実現してまいります。

## 【研究開発拠点の概要】

- (1) 名称 : GSI Europe Import Export GmbH France branch  
(Chemical Innovation Center)
- (2) 代表者 : 尾内 健 (GSI Europe Import Export GmbH 社長)
- (3) 研究責任者 : Jean-Baptiste Moranta
- (4) 所在地 : 119 ROUTE de la Paoute 06130 , Grasse - FRANCE
- (5) 人員 : 研究員 2 名 (将来的に増員予定)
- (6) 設立 : 2025 年 4 月

以上

参考: [塗料およびコーティング市場規模、シェア | 成長レポート \[2032\]](#)

参考: [New home - Sophia-Antipolis](#) (ソフィア・アンティポリス公式サイト)

## 【G S I クレオスとは】

G S I クレオスは、国内に 9、海外に 24 の事業拠点を持ち、“繊維”と“工業製品”の両事業をグローバルに展開する事業創造型商社です。繊維原料から、生地、アパレル製品、化学品、ホビー商材、機械、半導体部材、ナノテクノロジーまで、国内外のネットワークを駆使して幅広く事業を展開しています。「次代の生活品質を高める 事業の創造者として 人びとの幸せを実現する」というパーパス（存在意義）のもと、ESG 経営を推進し、社会課題の解決と人びとの幸せの実現を目指しています。

## <本件に関するお問い合わせ>

株式会社 G S I クレオス 経営企画部 企画広報課 Tel 03-5418-2122